

いわき農林水産ニュース

令和2年6月号(第184号) 発行 6月25日

ふくしまからはじめよう。

『食』と『ふるさと』新生運動ニュース



水溶性食物繊維を多く含み、健康志向者から注目を浴びている、食感が楽しい「もち麦」。飲食店や直売場で見かけましたらぜひご賞味ください!

目次

- ・【特集】令和元年東日本台風等災害からの復旧について……………p.1～
〔各種取組の実績(5～6月分)〕……………p.4～
〔お知らせ・連載記事〕
- ・田んぼの学校②開校式・生きもの調査……………p.7
- ・いわき地方の出荷制限等品目……………p.8
- ・いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果……………p.8
- ・イベント情報……………p.8
- ・GAPコーナー……………p.9
- ・6次化商品紹介……………p.10

特集

令和元年東日本台風等災害からの復旧について

昨年10月の台風第19号及び低気圧がもたらした記録的な大雨による災害から8ヶ月が経過しました。改めて、亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

いわき農林事務所・水産事務所では職員一丸となって復旧に取り組んでおりますが、今月号では現在までの復旧状況についてお知らせします。引き続き関係機関と連携して、一日も早い事業の再開に向けて取り組んでまいります。

1 農業等の被害及び復旧状況(農業振興普及部)

被害の状況

浸水や土砂流入等で水稻をはじめ特産のネギ、トマト、日本梨など多くの品目に被害が及びました。また、ビニールハウスや選果機等の園芸施設も被災し、被害面積は約311ha、被害額は約3億8,400万円となっています。

復旧の状況

いわき市、JA福島さくら等の関係機関と連携を図りながら、流入した土砂の撤去、被災した施設の再建や機械の再取得をはじめ、営農継続に必要な支援など農業者の意向に沿った復旧補助事業の実施や、早期の営農再開に向けた土作りや栽培技術支援を行っています。



(被災直後)

〈トマト栽培施設〉



(復旧の状況)



水稲については、被害が大きかった水田では、国の災害復旧事業が完了した後の令和3年の作付けに向けた営農準備や土作り、肥料設計等の支援を行うこととしています。また、日本梨については樹体の洗浄等による樹勢回復の指導や別園地での営農再開支援を行っています。

〈梨園（小川町）〉



(被災直後)



(復旧の状況)

2 農地等の被害及び復旧状況（農村整備部）

被害の状況

農地への被害に加え、排水機場、頭首工、水路等の農業用施設も大きな被害を受け、被害は693箇所、被害額は47億6,100万円となっています。

復旧の状況

被害を受けた施設のうち、営農再開に特に重要な頭首工1地区と市民生活への影響が大きい排水機場1地区については、県が復旧工事に取り組んでいます。このうち頭首工は応急仮工事を行い、今年の作付けに必要な農業用水の確保が可能となりました。引き続き進捗管理を適切に行い、来年度の作付けまでに復旧工事が完了するよう工事を進めることとしています。また、排水機場は7月に排水ポンプが稼働予定となっています。

農地やその他の農業用施設等の復旧工事はいわき市が担当しており、当所では早急な工事着手及び復旧に向けた技術支援等を行っています。

〈三和町細戸地区〉



(被災直後)



(復旧の状況)



〈小川町落合地区〉



(被災直後)



(復旧の状況)

3 林業等の被害及び復旧状況 (森林林業部)

被害の状況

林地における山腹崩壊や林道施設における路体決壊、林産施設等における浸水等により、被害は426箇所、被害額は約6億3,100万円となっています。

復旧の状況

県が実施する災害関連緊急治山事業1箇所については、近接する関連工事(国有林や国道)との工程調整など工事間の連絡調整を密に行い早期の完成を目指します。

また、林道施設災害復旧事業16箇所については、いわき市が事業主体となり早期の復旧に向けて取り組んでいます。

林産施設の復旧については、3箇所中1箇所が6月中に復旧工事完了見込みであり、残りの2箇所についても年度内に復旧見込みとなっています。



(林道「母成線」の被災直後の状況)

4 水産業の被害及び復旧状況 (水産事務所)

被害の状況

水産関係では、沿岸部での小型漁船の転覆のほか、内水面では、木戸川、富岡川等の浜通り6河川において、サケ築場(やなば)や漁網等が流失・損壊する被害が確認されました。

一方で、夏井川については増水によりサケ築場が水没しましたが、大きな被害は確認されませんでした。

復旧の状況

沿岸部で転覆した小型漁船は大きな被害がなく、現在は、試験操業でさし網、採鮑漁業等で積極的な水揚げを行っています。

また、内水面でサケ築場や漁網等が流失・損壊した浜通り6河川については、県の令和元年台風第19号農業等災害対策事業を活用し、昨年度中に全て復旧しました。

夏井川では台風第19号がサケの遡上時期と重なったことや全国的なサケの来遊尾数の減少等が重なりサケのふ化・放流事業にとって厳しい状況となりましたが、夏井川鮭増殖漁業組合の御尽力により今年3月に0.9g/尾の稚魚47千尾の稚魚を放流することができました。



(夏井川の築場の被災直後の状況)
(令和元年10月29日)

(いわき農林事務所・水産事務所)

ホッキガイ初水揚げ

〔6月1日(月)〕

ホッキガイの貝桁網漁業が6月1日に解禁となりました。いわき市漁業協同組合では6月1日に四倉支所所属船、6月3日に沼之内支所所属船、6月4日に久之浜支所所属船が今季初出漁しました。初日の水揚量は530kgと昨年より2割減でしたが、平均単価は昨年より2割高でした。地元漁師曰く、「今年のホッキガイは大きさ、身入りが良い」とのことです。



〔沼之内魚市場(p.9 地図参照)にて水揚げされたホッキガイ〕

ホッキガイは、ビタミンB12やタウリンなどの栄養成分を豊富に含んでおり、これからますます美味しくなります。

また、ホッキガイは長寿貝(30年以上)であり、非常に生命力が高いことで知られています。暑い夏を乗り切るために、いわきのホッキガイをぜひご賞味ください。

なお、「常盤もの」取扱店一覧については下記URLよりご覧ください。

<http://joban-mono.jp/shop>

(水産事務所)

市内小学校で食育活動を実施

〔6月15日(月)〕

「ふくしま食育実践サポーター」の佐藤良治さんによるさつまいもの栽培体験が、青空の下、いわき市立好間第一小学校(p.9 地図参照)の2年生児童とさくら学級児童計63名を対象に実施されました。同小学校での栽培体験は2年目で、今年度1回目となるさつまいもの苗植えが行われました。



(苗植えを指導する佐藤さん)

佐藤さんがマルチに穴をあけ、苗を植えて土をかぶせるまでの手順を実演した後、児童が一人一人お手本にならって実践し、自分で植えた苗に水やりをしました。

また、今回は「紅はるか」の他に、いわき伝統のさつまいも「太白」の苗も植えられ、児童たちは秋に収穫して食べ比べるのを楽しみにしている様子でした。

県では、学校や地域団体等が実施する子どもなどを対象とした食育活動を支援する「ふくしま食育実践サポーター」を派遣する事業を行っておりますので、ぜひご活用ください。(企画部)

シラス初水揚げ

〔5月27日(水)〕

いわき市漁業協同組合は、5月27日より今期のシラス漁の試験操業を開始しました。同漁協の勿来支所に所属する漁船4隻が約150kgのシラスを勿来魚市場(p.9 地図参照)に水揚げし、450~200円/kgで落札されました。同漁協のシラス漁は平成30年10月以来となり、久しぶりのシラスの水揚げに、市場は多くの漁業関係者で賑わいました。この日水揚げした漁業者によると「前の週に確認できたシラスの群れが散らばってしまった」とのこと、まとまった水揚げ量には至りませんでした。水揚げされたシラスはサイズが全長2~4cmで混じりも少なく良好な品がほとんどでした。同漁協では「天候や海水温が味方して、安定した水揚げが継続して欲しい」と久しぶりのシラス漁に期待を寄せています。



(水揚げされたシラス)

(水産事務所)

トピック1

「いわきハタチ酒プロジェクト・第3期」田植え！
～二十歳の年の、米作りから酒造り体験～



(田植えの様子(集合写真))

次世代のお酒の飲み手である19~20歳の皆さんに、日本酒に親んでもらうことを目的として、米作りから酒造りを体験してもらい、完成したお酒で20歳の年を祝おうという「いわきハタチ酒プロジェクト」。今年で3期目の活動を開始しました。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止措置により、思うように参加者の募集ができませんでした。そのような中でも、参加申し込みをいただいた学生さんに加え、過去の活動に参加したOB・OGの皆さんとともに、5月31日(日)に、今年の冬に仕込む日本酒の原料となる酒米「夢の香」の田植えを行いました。

今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら…ですが、一昨年・昨年と同様に、稲刈り～酒造り体験～まで活動していきたいと実行委員会は考えておりますので、日本酒好きな方も、そうでない方も応援よろしくお願いします。



(第2期ハタチ酒製品)

★ PR その1 ★

令和元年度産の純米酒「ハタチ酒」も3月末から販売中。「今年の発売を待っていた！」という根強いファンの方も生まれています。ぜひお買い求めのうえ、お試ください。

市内販売店：あわのや酒店・酒のいとう・酒のまるとみ・さわきや・タイハイ酒店・丸伊酒店・矢吹酒店

★ PR その2 ★

「いわきサンシャインTV」さんにPRビデオを作成していただきました。今年の田植えの様子に加え、今年及び第1期活動に参加した皆さんのインタビューもあり、この企画がよく分かる(素晴らしい!)映像になっています。ハタチ酒の「Facebook」や「YouTube」にアップしていますので、こちらもぜひご視聴ください。

<https://www.facebook.com/iwaki2Osake/>



(PRビデオの映像)

(企画部)

トピック2

栽培わらび出荷の取組について

平成 23 年 3 月の原発事故による放射性物質の影響で、現在、いわき市産の野生きのこや山菜等 7 品目（原木なめこ（露地）、たけのこ、たらのめ（野生）、ぜんまい、わらび（野生）、こしあぶら、さんしょう（野生））について、出荷制限及び出荷自粛となっています。

野生きのこや山菜は、農産物直売所での重要な販売品目であり、生産者にとっても貴重な収入源であることから、制限解除の要望の声は多く寄せられており、放射性物質濃度の状況に応じた、出荷制限及び出荷自粛の解除が求められているところです。

いわき市産わらびは、平成 24 年 5 月に出荷制限措置になりましたが、平成 26 年 4 月に「栽培わらび」の出荷制限解除の方針が示されたことから、以降「栽培わらび」出荷制限解除に向けた取組を始めました。



（検査前の栽培わらび）

「栽培わらび」として出荷制限を解除するため実施した調査

- ① 栽培履歴の聞き取り、ほ場管理（カリ肥料の施肥等）履歴の確認
- ② わらびほ場の生産環境の確認とほ場区域の明確化・区域分けの実施
- ③ ほ場の空間線量率、土壌の放射性セシウム濃度の測定
- ④ わらびの放射性セシウム濃度の測定

最初に解除へに向けた取組を実施した 6 名の生産者については、いわき市産栽培わらびの安全性の確認のため、わらびの放射性セシウム濃度測定を継続して実施する必要があり、平成 29 年 9 月の解除までに約 3 力年の期間を要しました。

その後、令和元年に 6 名、令和 2 年（5 月末時点）に 3 名の生産者が新たに追加となり、これまでに合計 15 名（18 ほ場）の生産者が、栽培わらびの出荷が可能となりました。

なお、15 名の「栽培わらび」については、生産者名及び生産者番号（県付与）を表示して販売することとなり、出荷先も予め指定されていますので 15 名以外の方が「栽培わらび」として出荷することはできませんので注意してください。（令和 2 年 5 月末時点）



（出荷解除された栽培わらびほ場）

今後も、栽培わらびの出荷に向けた取組は継続していきます。必要な調査は同様で、複数回調査となる④わらびの放射性セシウム濃度の測定に係る規定検体数（ほ場面積により決定。最小で 3 検体 3 回実施）の測定は、一定の時間を要しますが、調査結果に問題がなければ、最短で調査翌年に出荷が可能となります。

出荷のための安全性が確認された生産者については、下記 URL よりご確認ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/ps-saibaiwarabiseigenkaijo-iwaki.html>

◇栽培わらびの出荷制限解除を検討されている生産者につきましては、下記担当までご相談ください。

森林林業部 林業課（特用林産担当）電話 0246-24-6193

（森林林業部）

「福、笑い」の田植えを実施！

〔5月28日(木)〕

好天に恵まれた5月28日、本県オリジナル水稻新品種「福、笑い」の田植えが下平窪地区(p.9 地図参照)の50aの水田で行われました。「福、笑い」は熟期が「コシヒカリ」並、収量は「コシヒカリ」並~やや多く、大粒で強い甘みと香りを持ち、柔らかい食感が特徴です。また、栽培面においても倒れにくく、いもち病にかかりにくいなど栽培しやすい品種です。県では「福、笑い」を本県産米のトップブランド品種として位置付けるため、食味・品質基準を設け、高品質かつ良食味な一定品質のお米を確保することとしています。今年度は令和3年度からの本格栽培開始を目指すための先行栽培となり、生育状況や収量、食味・品質基準の達成状況等を検証します。今後も生育状況や本格栽培に向けた情報を発信してまいりますので、楽しみにお待ちください！



〔「福、笑い」の田植えの様子
(下平窪地区)〕

(農業振興普及部)



第2回

開校式・生きもの調査

6月18日(木)



(生きものを捕まえている様子)

いわき市立菊田小学校(p.9 地図参照)5年生児童80名が、令和2年度「田んぼの学校」の活動として、マコモダケを作付けしている学習田脇で開校式を行い、その後に学習田周辺の水路で生きもの調査を行いました。

はじめに、生きもの専門家である春本宜範氏(アクアマリンふくしま所属)より、生きもの捕り方などの説明をいただき、その後、タモ網やサデ網を用いて生きもの捕りに挑戦しました。短い調査時間でしたが、タモロコ、ナマズ、アマガエル、ニホンアカガエルなど、たくさんの生きものを捕まえることができました。

最初のうちは、土水路内に入るのをためらっていた児童たちですが、様々な生きものたちを捕まえるうちに夢中になり、ぬかるみも気にせず熱心に生きものを捕らえていました。児童たちは普段見かけない生きものや、捕まえる機会のない生きものに興味津々でした。

また、今回捕まえた生きものについて、春本氏より解説をいただきました。大きくなると田んぼから川へ移動するナマズの話や、オタマジャクシからカエルへの変態の話など、興味深い話を真剣に聞いていました。



(春本氏の解説を真剣に聞く児童たち)

児童からは、「いっぱい魚を網で捕まえられてビックリした!」「田んぼの周りの生きものに詳しくなれた。」などたくさんの喜びの声が上がっていました。

■次回(最終回)の田んぼの学校について
マコモダケの収穫・実食・閉校式を行います。(9月23日(水)予定)

(農村整備部)



お知らせ

いわき地方の出荷制限等品目

令和2年5月末日現在、いわき地方の農林畜水産物のうち、出荷が制限等されている品目は(表)のとおりです。
 (表) 農林畜水産物の出荷制限等品目(令和2年5月末日現在)

出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値(100Bq/kg)以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。(企画部)

制限、自粛	区分	品目
出荷制限	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ(野生のものに限る)、わらび(野生のものに限る)*、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ(露地)、野生きのこ
出荷自粛	山菜	さんしょう(野生のものに限る)

※わらび(栽培)は該当生産者15名のほ場に限り出荷制限が解除されました。

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果(令和2年5月分)

農林畜産物の検査結果

令和2年5月の農林畜産物モニタリング検査では、検査した19品目52検体すべてにおいて放射性セシウムが基準値(100Bq/kg)を超えたものはありませんでした。内訳は(表)のとおりです。(企画部)

(表) 放射性セシウムが基準値以下の品目と検体数

わらび(栽培) 19、菌床しいたけ(施設) 8、もみじがさ(しどけ)(野生) 3、うど(野生) 3、タラノメ2、うわばみそう(野生) 1、ふき(野生) 1、ニラ1、くさそてつ(ごごみ)(野生) 1、エリンギ(施設) 1、キュウリ(施設) 1、カブ1、サヤエンドウ1、スナップエンドウ(施設) 1、ホウレンソウ(施設) 1、コマツナ(施設) 1、はちみつ1、牛肉3、原乳2

海産魚介類の検査結果

令和2年5月の水産物モニタリング検査では、223検体の魚介類を検査し、放射性セシウムが基準値(100Bq/kg)を超えたものはありませんでした。(水産事務所)

イベント情報

「おいしい ふくしま いただきます!」キャンペーン

- 日 時：令和2年7月18日(土) 10:00~14:00
(配布物がなくなり次第終了)
- 場 所：ヨークベニマル新谷川瀬店(p.9 地図参照)
- 主 催：福島県いわき農林事務所

※アンケートにお答えいただいた方にミニトマト・トマトジュースのプレゼントあり。(なくなり次第終了)

※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用・手指の消毒やお客様同士の距離を十分保つなど皆様の御協力をお願いいたします。

第1回 7月18日(土)開催

おいしい ふくしま いただきます キャンペーン

日時・場所
 ☆7月18日(土) 10時~14時
 (配布物がなくなり次第終了)
 ☆ヨークベニマル新谷川瀬店
 (いわき市平谷川瀬三丁目21-10)

キャンペーン内容
 ※アンケートの紹介
 ※GAPに関するアンケート
 ※回答いただいた方には、ミニトマト(GAP産品)及び本郷の紅(GAP産品使用)をプレゼント!
 ※アグリネットファイブクラスの提供
 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用、手洗いの励みやお客様同士の距離を十分保つなど皆様の御協力をお願いします。

このキャンペーンの目的
 いわき農林事務所が主催する「おいしいふくしまいただきます」キャンペーンは、県産の新鮮な野菜・果物を多く取り入れることにより、県産品の消費を促進し、生産者の所得向上を図ることを目的としています。

お問い合わせ先
 福島県いわき農林事務所企画課
 〒970-8003 いわき市平谷川瀬三丁目21-10
 電話：0246-24-6197

新型コロナウイルス感染症の予防対策のためご来店を制限いたしますが、御来店の際は必ずマスクの着用と手洗いを徹底していただきます。

GAP コーナー

GAP (Good Agricultural Practice) : 「農業生産工程管理」

県及びいわき地方におけるGAP推進状況について

GAPとは、Good (良い) Agricultural (農業の) Practice (行い) の略語で、農業生産工程管理と訳され、食品の安全確保、環境の保全、労働の安全などの観点から、安全に農業生産を実施するための管理ポイントを整理し、それを記録・検証して、より良い農業生産を行うことです。

本県では、平成29年5月15日にGAP認証日本一を目指して行われた「ふくしまGAP。チャレンジ宣言」を受けて、平成29年度から令和2年度までGAP推進期間と位置づけ、全県的にGAPの導入推進を図っています。

当所においては、関係機関・団体を構成員とした「いわき地方GAP推進協議会」を設置し(平成29年度)、GAP取得に係る帳票類作成・リスク検討・整理整頓等の支援、補助事業活用の提案等を行ってきました。その結果、米・トマト・ねぎ・いちご・なし等、28件のGAP認証を実現しています(令和2年3月末現在)。

本年度は推進期間最終年度であり、当所としてもGAP取得による農業経営の合理化・いわき市産農産物の安心安全確保のため、引き続きGAPの取得推進を支援していきます。(農業振興普及部)

■いわき地方のGAP推進目標

区分	基準年(件)		現状		目標	
	平成28年度	令和元年度(R2.3月末)	令和元年度(R2.3月末)	令和2年度	令和元年度(R2.3月末)	令和2年度
第三者認証GAP	1	18	18	26	18	26
ふくしま県GAP	0	10	10	14	10	14
合計	1	28	28	40	28	40

■福島県のGAP推進目標

区分	基準年(件)		現状		目標	
	平成28年度	令和元年度(R2.3月末)	令和元年度(R2.3月末)	令和2年度	令和元年度(R2.3月末)	令和2年度
第三者認証GAP	10	196	196	141	196	141
ふくしま県GAP	0	73	73	220	73	220
合計	10	269	269	361	269	361

今月号に掲載した場所はここです!

- ① 沼之内魚市場 (p.4)
平沼之内字浜街 186
- ② いわき市立好間第一小学校 (p.4)
好間町上好間馬場前 28
- ③ 勿来魚市場 (p.5)
勿来町九面二後浦 27-1
- ④ 下平窪地区 (p.7)
- ⑤ いわき市立菊田小学校 (p.7)
山田町林崎 46
- ⑥ ヨークベニマル新谷川瀬店 (p.8)
平谷川瀬三丁目 21-10
- ⑦ 株式会社ワンダーファーム (p.10)
四倉町中島字広町 1



こだわりと美味しさがつまった いわき自慢の6次化商品をご紹介します！

四倉町の株式会社ワンダーファームでは、トマトの生産・加工・販売を手掛けています。

「とまと味噌」は、いわき市産ミニトマト「フラガール」を使用したスパリソートハワイアンズとの共同開発商品です。ごはんやパン、パスタはもちろん、味噌汁やカレーなど様々な料理にお使いいただけ、アレンジは自由自在です。また、今年リニューアルした商品のパッケージはトマトの配色をイメージし、お洒落で目を引くデザインに仕上がっています。ワンダーファーム、ハワイアンズの両施設のほか、オンラインストア等でお買い求めいただけます。

また、ワンダーファームの直売所「森のマルシェ」では今月から店内を大幅にリニューアルし、トマトや加工品の売り場をより充実させています。新たに導入したミニトマトの量り売りは、隣接するハウスで栽培された7種類のミニトマトを自由に組み合わせることができ、それぞれの味の違いを楽しむことができます。さらに、併設のカフェでは新商品のシフォンケーキのほかプリンなどのオリジナルスイーツを味わうことができます。是非足をお運びください！



とまと味噌

販売価格:561円(税込)
内容量:130g

専用のギフトBOXで
贈り物にもおすすすめ！



ブルーベリー
抹茶シフォン

販売価格:各100円(税込)



昭和ふりん日和

販売価格:180円(税込)

各種スイーツは
お持ち帰りもできます！

オンラインストア

Yahoo!ショッピング <https://store.shopping.yahoo.co.jp/wonderfarm/>
楽天市場 <https://www.rakuten.co.jp/wonderfarm/>



ミニトマト量り売り
120円(税別)/100g

お問い合わせ

株式会社ワンダーファーム

- いわき市四倉町中島字広町1
- TEL.0246-85-5105
- HP: <http://www.wonder-farm.co.jp>

所在地は p.9 のマップを参照

編集後記

今月号の特集では、昨年発生した台風 19 号及び大雨による被害の復旧状況についてお伝えしました。いわき農林事務所及び水産事務所では、引き続き復旧に向けた支援に取り組んでまいります。

さて、今月号は田植えや生きもの調査・初水揚げなど、面白い話題が多くありました。私が伺った小学校の児童たちも、暑い中一生懸命に苗植えに挑戦していました。また、来月は久しぶりのイベントとして「『おいしい ふくしま いただきます！』キャンペーン」を実施する予定ですので、ぜひお越しください！お待ちしております！（企画部 K）



◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地

(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース